

ゆうゆう通信

埼玉県新座市シルバー人材センター会報



本多運動公園（ひまわり畑にて）

— 目次 —

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 2 頁 第42回定時総会報告
令和3年度事業計画 | 7 頁 新座再発見 |
| 3 頁 令和3年度 役員・部会・委員会人事 | 8 頁 言いたい放題 時事呆言 |
| 4 頁 令和3年度 表彰者
令和3年度 安全標語優秀作品 | 9 頁 私のゆうゆうエンタメ |
| 5 頁 新・職場探訪 | 10頁 私のふるさと／ゆうゆうエッセイ |
| 6 頁 新・健康ニュース | 11頁 親睦会だより |
| | 12頁 SC掲示板／編集後記 |

第42回 定時総会報告

福島理事長報告

去る6月27日、公益社団法人新座市シルバー人材センター(SC)の第42回定時総会が開かれた。昨年同様、本年も新型コロナウイルスの感染防止の観点から三密にならないように配慮し、SC会議室で行われた。



理事長 福島 和男

福島理事長の挨拶に続いて、本来ならばSCに多大な貢献をいただいた方々を顕彰する表彰式を行うところ、かかる事情により今回も取り止めとなった。今回受賞の対象となったのは6事業所及び地区活動や職群班活動に顕著な実績を上げた26名の方々、更に安全標語優秀賞受賞者の方々である(本誌4頁掲載)。表彰状と記念品を手渡しで贈呈するところ、昨年同様、郵送でお届けした。

本年度もなお続くコロナ感染禍での総会開催。会場、セレモニの形等から今回も会員の皆様のご協力をお願いする中での開催となりました。多くの会員の皆様の心あるご理解をいただき、第42回の定時総会も無事終了することができました。改めて会員の皆様に心からの御礼を申し上げます。埼玉県そして新座市にあつては、昨年4月の「緊急事態宣言」から「まん延防止等重点措置」へと、感染拡大防止の様々な対策が採られ、今ワクチン接種という新たな局面を迎えることとなりました。コロナの日々に明るさを見出すことができるのかはなお不確かな状況です。センター活動も同様厳しさの中にありますが、少しでも前に進んでいけるよう会員皆で力を合わせてまいりたい

いと思つていきます。

令和3年度事業計画

令和3年度センター運営の基本方針に基づき、次に掲げる項目についてその取り組みを進めてまいります。(主な項目を抜粋)

- ① 会員の拡大と意識の向上
- ② 会員による入会希望者の紹介等入会促進活動の推進
- ③ 移動入会説明会、女性限定説明会の充実と地区別入会説明会の検討
- ④ ホームページ活用による入会ステップの拡大
- ⑤ 新規入会者研修から始まる会員研修の推進と充実
- ⑥ 就業の拡大、就業活動の支援と適正就業への取組
- ⑦ 公益財団法人いきいき埼玉(県連合)の実施事務所としての一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)、有料職業紹介事業の運営と展開
- ⑧ 派遣事業(シルバー派遣事業) 拡大に向けた営業等の取り組みの強化
- ⑨ 指定管理業務(新座駅周辺自転車等駐車場) の的確遂行
- ⑩ 安全の徹底と健康管理
- ⑪ 「第6次安全対策基本計画」に基づく各種施策の推進
- ⑫ 他委員会、地区長との共同・連携による安全就業・事故防止の推進
- ⑬ 安全就業確保に向けた研修、講習の実施
- ⑭ 健康管理の為の各種研修、講習の充実と効果的実施
- ⑮ フレイル予防活動の推進、充実とサポーターの育成
- ⑯ 特定業務(高所作業を伴う業務等)就業会員に対する健康状態の把握
- ⑰ 社会奉仕・地域貢献活動の展開と展望
- ⑱ 地域班活動としての地域見守り(児童見守り) 活動や地区ボランティア活動の推進と活動への支援
- ⑲ センター全体での統一ボランティア活動の実施
- ⑳ 市等地域施策との連携と協力
- ㉑ 成年後見事業の展開
- ㉒ 法人としての組織体制の確立と充実
- ㉓ 市等他機関との連携とネットワーク構築への取組
- ㉔ 後見事務の的確な遂行と新たな受任に向けた取り組みの推進
- ㉕ 事業を担う担当会員のフォローアップと後継会員の計画的育成
- ㉖ 組織運営等
- ㉗ 公益社団法人としての経営(組織運営、財政運営)の確立
- ㉘ 新しい生活様式の下での活動の形等の研究
- ㉙ 情報発信機能としての会報の更なる充実
- ㉚ 会員が長くセンターに在籍できる仕組み(長期在籍会員、高齢会員、夫婦会員等への処遇対応策等)の確立に向けた研究(以上)

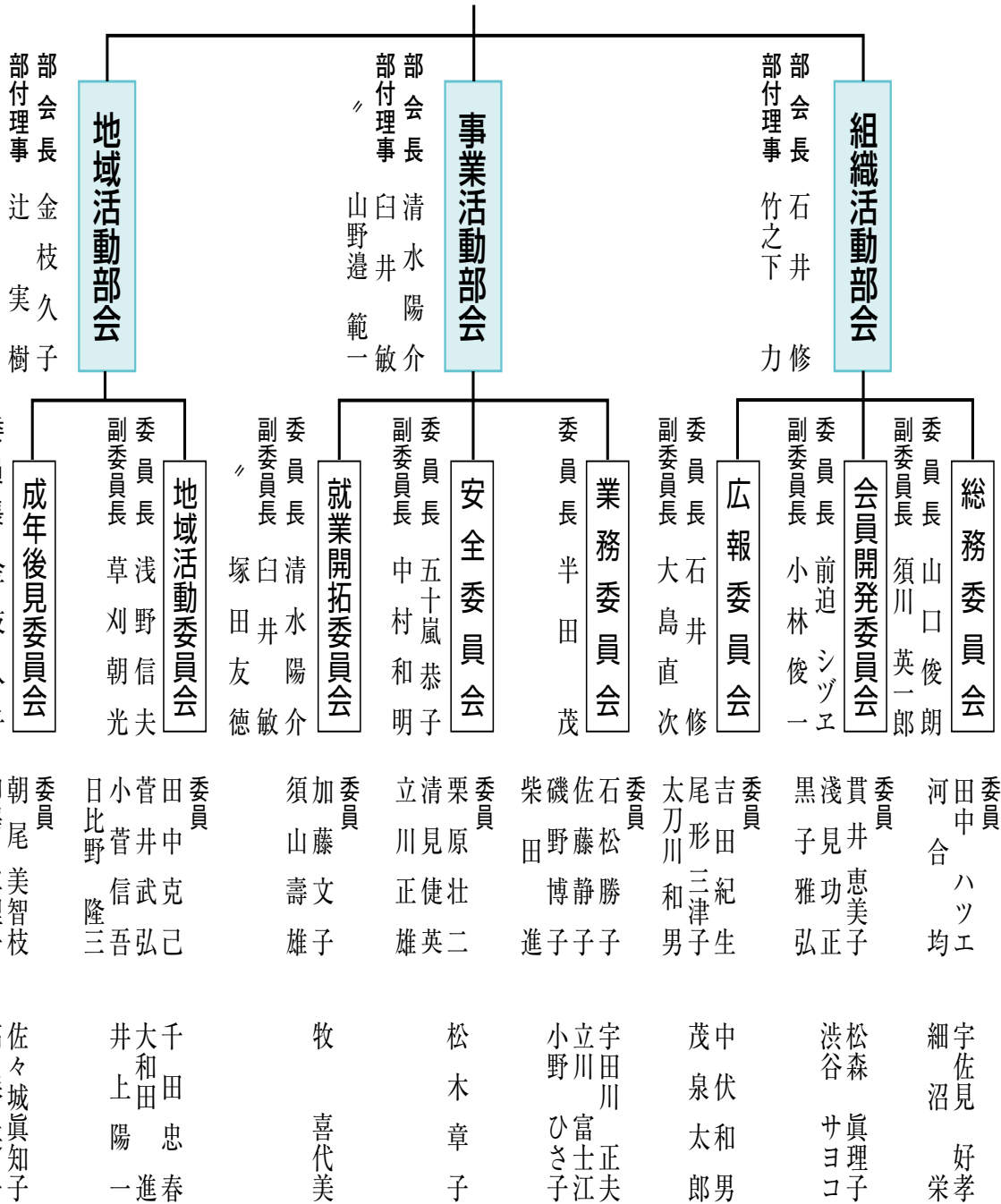
令和3年度 役員人事

理事長 福島 和男
 副理事長 有賀 健
 理事 金枝 久子
 清水 陽介
 石井 修
 五十嵐 恭子
 半田 茂
 山口 俊朗
 浅野 信夫
 前迫 シヅエ
 白井 敏
 やまの 範一
 山野邊
 つじ 実樹
 たけのした 力
 竹之下
 船津 実
 島村 齋
 櫻井 浩

福島理事長は、10年以上新座市SCの理事長として在職し、事業発展に功労があったと県シルバー連合より表彰されました。

部会・委員会メンバー

一部、人事異動がありました。令和3年度部会・委員会の新たなメンバーを紹介します。



令和3年度表彰者

(敬称略)



地区長・地区委員、職群班長・副班長に3年以上在任された方々

株式会社 ネオテック
 埼玉県住宅供給公社
 日本ハウズイング株式会社 川越支部
 住友林業レジデンスィヤル株式会社
 社会福祉法人なごみ会 ふえありーている保育園
 株式会社 セコニック

センターの発展に貢献された事業所等



総会での各表彰者の紹介

《令和3年度 安全標語優秀作品》(敬称略)



委員会委員として功績が顕著であった方々



渡辺 寿晴



田中 幸子



百武 恭代

【優秀賞】
 健康を口で言うよりもまず実行
 毎日続けるフレイル予防
 栗原 壮二



【入選】
 今日笑顔は元気の証
 明日につながるシルバークラウド
 五十嵐 恭子



【入選】
 目配り・気配り・思いやり
 無事故・安全みんなの願い
 萩元 義明



【佳作】
 未来まで生かせ教訓
 無事故の決意
 中村 和明



【佳作】
 仕事もコロナも安全第一
 基本守ってみんなで笑顔
 日高 利晃



【佳作】
 知ってトク 知らせて安心
 キケン予知
 竹安 賢



新・職場探訪

トラック運送業
(株)WING LOG 埼玉
野火止2丁目

陣屋小学校近くの通学路に面して、運送会社(株)WING LOG 埼玉がある。毎朝70人程の児童が会員の声掛けに挨拶して通るのが当たり前の光景になっている。浅地修さん、谷田川和彦さん、石井浩美さんの3人が派遣で就業している。

責任の重い 運行管理補助業務

浅地さんは7年目のベテラン。児童への声掛けを最初に始めた人だ。石井さんは就業してまだ3ヶ月。旅行が大好きで、昨年は沖縄、竹田城跡、有馬温泉へ。今回、残念ながら、谷田川さんには会えなかった。就業時間は、早番が8時から13時、遅番が13時から18時。

1都3県を走るドルフィン マークのトラック

元々は倉庫内での梱包作業だったが、得意先からついでに運んで欲しいと言われて、輸送の免許を取得したのが1991年。現在は



左から石井、浅地の両会員

運送業が主体に、扱い項目別に4つに分社化させグループ全体で社員1000名(トラック保有台数1000台)。将来は千葉、神奈川県にある中継地を独立会社社に昇格させる予定である。

気さくな親分肌の社長

社本憲干。「しゃもとかずゆき」とお読みしますが、

読める人は殆どいない。

社内のモラル向上のため、社員の家族の誕生日には金一封とケーキを贈っている。福利厚生にも力を入れており、社員寮も建設した。そこにもSCの会員が就



社長の社本さん

業しているという。名古屋出身で、ハーレーダビッドソンを駆ってツーリングにも出かける70才。車を扱う仕事だけに、社員の安全第一に常に気を配っている。(太刀川)

家電通販 (株)ノースアーク 池田3丁目

県道志木保谷線をひばりが丘方面へ。関越道手前の側道を左折すると、(株)ノースアークがあります。現場責任者の高橋さんにお話を伺いました。家電全般の商品を通販で「アーケマーカー」を展開し、新宿

にも事務所があります。事業拡大で今年2月、この新座にも事務所兼倉庫を開設しました。

ネット通販にも苦労が

「家電をネット通販で購入する人も増えていきます。価格を安くしても、サイトで直ぐ他店と簡単に比較され、売り上げにも直結します。常にランキング上位にすることが重要です。迅速・丁寧な対応がお客様に好評です」と高橋さん。

派遣で就業

営業時間は平日、11時～16時。梅津清津子さんは月、火、金の週3日12時～15時の派遣就業。高橋さんと2人で切り盛りしています。



高橋さんと梅津会員(左)

「梅津さんは梱包する手際がいい。」と高橋さんも絶賛。

それもそのはず、以前30年近く本の梱包・発送の仕事をしてきたそうです。

「就業してまだ1か月。

商品名とJANコードが一致しません。都度、高橋さんに教えて頂く毎日です」と梅津さん。昨年12月、SCに入会し、ここに就業したのは今年の5月です。「趣味は山歩きです。毎週土、日は1000～1500m級の山々を歩きました。宿泊は現地でネットで探し、予約できなければ終電で帰ってきます。今は月一です。老いは足から、毎日散歩しています」山歩きの話をする梅津さんの目は輝いていました。

動きも機敏で、背筋もピンとしています。「職場は働いていて楽しいのが一番。ここを紹介いただいても感謝しています。自宅から自転車ですく4分ですもの」

取材をしている間にも次々と注文が入り、忙しいので高橋さんに挨拶し早々にお暇しました。

(石井)

新・健康ニュース

コロナ禍の熱中症対策

おじいちゃん和孫娘の会話

食生活ジャーナリスト・健康管理士 上原 道康

マスクと熱中症対策

高校生の孫娘

「人一倍汗かきだからマスクをしての外出が億劫になっちゃったわ。でもお友達と会う約束しているからなあ・・・」

同居のおじいちゃん

「今では熱中症、コロナ、マスクというのは社会問題だね。厚生労働省が国民に新しい生活様式を提案しているよ」

孫娘「役所の提案って？」

おじいちゃん「もったもなことが言っていないな。コロナが流行り始めたころの生活様式

①人との距離を保つ

②マスクの使用

③手洗いと三密を避ける

というところから、さらに具体的な生活様式にチェンジしようということだよ」
孫娘「三密はよく耳にする

ので知っているわ。それがどう変わるの？」

マスク使用時の

注意事項

おじいちゃん「マスクを使用していると体の負担が増えるんだけど、その原因として、

①心拍数増

②呼吸数増

③体感温度の上昇

④血中二酸化炭素濃度の上昇、

昇、

などが挙げられる。こんな時は少なくとも2倍以上の距離を保ちマスクを外そうと

言っている。

また高温の室内から屋外へ出て、十分な距離を取

たうえでマスクを外すことを勧めている。

さらに、マスク着用時は運動を避け、こまめな水分補給をするように奨励している。

マスクをしていると喉の渇きを感じることが遅れがちになるというのだね。最後に、暑い日、暑い時間帯の外出は避け涼しい服装をするように言っているよ」



孫娘「マスクのことばかりだね・・・」
おじいちゃん「いや、そうでもないよ。提言では、*エアコンの使用*涼しい場所への移動*日ごとの健康管理についても述べている。ホームページで調べてみると良いな」
孫娘「今年の夏も暑くなりそうだから参考にするわ」
おじいちゃん「最近の動きとして、暑さ指数計、これは気温と湿度、日射量などを基に計算するのだが、こ

の計数機を普及させようという動きもあるよ。

これは普及するとイベント会場でも設置ができ、独自の判断で警告が出せるようになるから期待したいね。

でもな、もつと多くの人に知って欲しい、分かりやすい熱中症対策標語というのを広めたいなあ」

孫娘「熱中症対策の標語？」

熱中症対策の

カ・キ・ク・ケ・コ

おじいちゃん「熱中症対策のカ・キ・ク・ケ・コという標語だ。

(カ)は、風通しを良くする。

(キ)は、休憩、休息をこまめにとる。

(ク)は、クーラーや扇風機をうまく使う。

(ケ)は、健康管理、特に睡眠時間に気を配る。

(コ)は、こまめな水分補給を忘れるな。以上だよ」

孫娘「面白い！それと分かりやすい。友達にも言ってみよう！」

おじいちゃん「そうかい、役立つって良かった。

外出するならこの塩飴も持って行きなさい。汗をたくさんかいた時は塩分も取ることを忘れてはだめだよ」

塩分が必要なわけ

孫娘「ありがとう。でもなぜ汗をかいた後、水分補給だけだとだめなの？」

おじいちゃん「半分になっている湯飲みを見せながら」このお茶の量と色が汗をかいた後の体内の水分と比べておくれ。

体内水分には大切な塩分なども含まれているよね。この湯飲みに水だけを足したらどうなるかな？」

孫娘「あっ、そうか。汗をかいた後、水分だけ補給すると塩分などが薄くなってしまうのだね。だから塩分補給が大切なのね。友達にも教えよう！おじいちゃん、ありがとう！」

SC会員の 上原さんは、一般市民や学生、企業などを対象に食生活と健康などをテーマに啓蒙活動を積極的に行っている。



地獄坂がありました。土地の人が胸を張って「坂を撮るなら地獄坂だよ」と言い、実地に体感してきました。正に地獄でした。

コロナ禍により他所へ出かけての撮影が俚ならぬため、市内を今まで以上にうろつくことにしました。電動自転車を入手、準備を整えあちこちの実況見分に入りました。予想以上の坂道が実感でき、電動にして「よかった！」

河川沿いを走る

車で走っていた時は、道路の傾斜が気にならなかったが、「人力走行」では、時として命懸けと言えるほど過酷な坂に出会う。

黒目川や柳瀬川の谷間を横切るメインの道路にある坂道は実に楽しい。傾斜角は緩やかで、ゆるゆると続いていく。電動自転車は快適に、軽やかに登ってくれるが、車道走行は別の意味で命懸けと言える。前後を見ると車道走行の自

転車は見かけない。歩道をとっているのだが、そこが狭い。歩道には自転車用走路がなく、行政上の問題点が見えてきたが、この頁の趣旨とは異なるので、別の機会に譲り、話を「地獄坂」に絞る。



地獄坂への入り口は普通の角地

地元推奨の地獄坂

まず自宅の近所からと考え柳瀬川周辺を検証。新座1丁目の住人から「この坂を見ずして、他を語るな」と云われた坂を選ぶ。そこは防衛道路『ガスト』の裏辺りと聞き探しながら二つほど坂を下ってみた。だが、これらは「地獄」ではないとみた。無理なく気持ちよ

く走り降りたからだ。キョロキョロしているとき、道路わきの家から主婦が顔を出し目が合う。「撮るな！」という表情なので、「このあたりの坂道を撮っている」と云い訳をする。彼女は嬉しそうに「じゃあ、この先の地獄坂を撮ったか？」ときた。早速その在り処を聞き現地を目指す。何の変哲もない角を左折し、何気に見上げてたまげた。「間違いなくここだ！」



地獄坂を下から見上げる

青息吐息の登坂

見上げた先に自転車を押しながら行くご婦人がある。バイクが下ってくる。ほぼ直線でありながら、終点が見えないのは左折して登り切る感じのようだ。我が電動を最強にセットし、地獄坂を登る。さすがにパートナーは期待に込め、スルスルと登り曲がり角から一気にてっぺんに出た。振り返る

と、この道は下りも慎重でなければ、正面の家突つ込みそうでかなり危険。地獄の名に納得。



老夫婦のオシドリ登坂

しばらくの間、曲がり角で下りを撮影。地元の方々は「地獄」と言いながら、生活道路としてのこの坂道を愛用している。年配のご婦人が平然と自転車を押しながら登り切っている。老夫婦が徒歩でやってくる。若手（とは言って



一気のダウンヒル

も50過ぎか?)の女性が一気に自転車を下っていく。何という事のない風景なのだ。この後、西武台通りに向い、その長く急坂も堪能した。これ等は次回。(吉田)

言いたい放題 時事 呆言



旅行・最高の思い出？ 悲惨な思い出？

「へー！ 思ったより良いかも、いや最悪！ こんなはずじゃ」など



▶ 文化の違い実感が魅力 ◀

百聞は一見にしかず。海外旅行は魅力満載だが、その一方で、言葉の壁に悩み、文化の違いに驚く。それも醍醐味。若かりし頃、ニューヨークにひとり旅。空港からタクシーに乗ったところ、運ちゃんが「シングル？」と言うので、独身かと聞かれたと思い、「ノー」と答えるとグラグラ笑う。1ドル札のこと。通行料の請求だった。これに懲り、以後、もっぱらバックツアーを利用する。スペイン旅行でマドリッドまで新幹線に乗った。なんと定刻より、10分早く到着した。現地ガイドが「どうだ、スペインの新幹線は早いだろう」と鼻高々。驚いた。一体何のための定刻？これも文化の違い？

(海外旅行に痺れる男 野火止70歳)

▶ 怒りを忘れて笑ってしまった温泉宿 ◀

半年ぶりに連続した休みが取れた日の午後、温泉に行こうと思立ち、近隣の宿に電話をかけまくり断られ続けた。諦めかけた頃に妻が古いガイドブックの中に民家風の宿を発見し前のめりに予約し車で出かけた。国鉄職員が脱サラで始めた温泉宿だという。通された和室には窓がなかった。隣室とは障子1枚で仕切られ、入った途端にカビの臭いが鼻を突く。予約を取ってから使っていない部屋を慌てて掃除した様子だが、懲はごまかせない。食事は川魚に山菜料理で質素、酒を頼むと男主が自転車で買いに走る様子は滑稽だった。寝不足で迎えた翌朝は釣り客の出発する騒音で目覚めたのだった。(今、怒りを思い出した男 東69歳)



▶ 波乱のスタートから50年 ◀

昭和43年2月の新婚旅行は、最高にして最悪だった。式後そのホテルに宿泊、翌日両家の実家に寄り志賀高原・野沢温泉スキー場へ向う。碓氷峠でチェーン着装。切れ切れの雪道を走行し、午後7時最後の登りでチェーンが切れる。真っ暗な雪の山道に車は放置、40分程でホテル着。翌朝ガソリンスタンドの助けでやっとホテル駐車場に。その後志賀・野沢とスキーを満喫。帰途の軽井沢ホテルに会社から入電。「イレギュラーながら異動内示。早急に出社」と人事からの指示。以来50数年、波乱万丈の「人生という旅」を同居人と共に楽しんでいる。

(いい日旅立ちが未決済の男 北野81歳)



▶ ちゃっかり旅行を満喫 ◀

出張の多い時期だった。4月下旬、羽田から福岡に飛び翌日は伊丹へ。大阪で仕事を終えて帰京する日程を妻に伝えた。次の日から5連休。全くの偶然に彼女も大阪出張だという。千載一遇のチャンスとばかり夫婦で小旅行と決め込んだ。神戸から小豆島に渡って3泊。島めぐりで満喫し帰りは伊丹から羽田へ。もちろん飛行機代は夫婦共にゼロ。帰りの便が羽田空港に着陸すると機内から拍手が湧き上がった。無事の着陸に安堵した乗客の拍手だ。数日前の名古屋空港で中華航空機の着陸炎上大事故が起きたばかりだったのだ。安上がりなちゃっかり旅に水を浴びせられた結末だった。(誰のせいでもありゃしない 野火止74歳男)



▶ 台風直撃された新婚旅行 ◀

新婚旅行はハワイに行きたかったのに、なぜか八丈島。まあ飛行機で行けば海外!? 私は教師2年目で1年生の担任だった。「一生に一度だから行ってきなよ」という同僚たちの勧めで、授業を自習にして10月に3泊4日で行った。今なら絶対に無理。調布飛行場からYS-11プロペラ機で出発。宿泊は八丈島国際観光ホテル。二人で牛相撲を見たり釣りやパチンコをして毎日遊んでいたが、台風がきてしまった。学校が心配だったが帰りの飛行機が出ない。延泊は八丈温泉ホテルにした。嵐の中、温泉プールで泳いでのぼせてしまった。両ホテルは現在は廃墟だという。

(思い出の中で旅を楽しむ女 野火止67歳)



▶ 記憶に残るドタバタキャンプ ◀

今時のキャンプ場はゴージャスなテントやイス、コンロなどの展示会状態だが、昔は至って質素。あの分厚い三角テントを木に吊るし、焚火で飯を炊く。運が良ければ釣った魚も皿に並ぶ。'80年代初め、子連れの初キャンプに奥多摩へ。川遊びで皆腹ペコ。カレーでも作ろうと思った矢先にピカッ！ゴロゴロ、大雨だ。古臭く狭いテントが役立つわけもなく早々と車に避難。致し方なく湯だけ沸かしてカップ麺だ。何と最悪な家族旅か！でもこの焚火ありズブ濡れありのキャンプが今でも彼らの一番楽しい思い出らしい。自然を相手に何が起こるか分からぬドキドキ感で、みんな目がキラキラしていた。(専ら家でゴロゴロ男 畑中71歳)



今回は「オリンピックを楽しみましたか？」をテーマにします。楽しく、異論・暴論・呆言をお寄せください。

私のゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

Theme Park

(大和田 1 奥山 政守)

昭和30年代にタイムスリップ

西武園ゆうえんちが、今年5月新たなテーマパークとしてリニューアルオープンしたというので孫たちと行ってきた。人情味あふれる30軒ほどの昭和の「夕日の丘商店街」を再現し、独自紙幣(1園=12円)で買物や食べ歩きを楽しむ嗜好。入場料は1日4,400円だ。

平日だというのに昼時の食堂・喫茶店は長蛇の列。通りでは、八百屋の叩き売り、チンドン屋や紙芝居屋など、あちこちでライブパフォーマンス。射的、ラッキーボール遊戯場も体験できる。



今回の目玉はレトロな映画館「夕陽館」でゴジラをテーマにした世界初のライド・アトラクション「ゴジラ・ザ・ライド大怪獣頂上決戦」らしい。上映時間はたった5分だが、強烈なアクションシーン、迫力あるリアリティ、スリル満点のVFX映像と4DXは想像した以上だった。一度体験してみたいはいかがでしょうか。

Clamming

(野火止 7 尾形 三津子)

狩猟本能全開で潮干狩り

我が家はほぼ毎春、船橋三番瀬海浜公園の潮干狩り場に行っている。昨年はコロナで中止だったが、今年は4月25日～5月30日の開催。潮位表で大潮の日を探して、



5月16日の前売り入場券(採貝料1kgを含んで大人1350円)をコンビニで買って、いざ出陣。ところが会場入り口で渡された網は例年の半分の大ささ。さてはたくさん採らせなかつもりか。会場も例年の半分の広さ。すでに狩猟本能全開の私はアサリがいる場所を求めてどんどん進む。孫を連れたシルバー世代の方々はのんびりしているが、アサリを採りたい私は必死だ。1箇所でも何個も採れると下半身の疲れも吹き飛ばす。だがあまり採れないうちに終了のアナウンス。出口で娘を待つと、小さな網をアサリで満杯にして戻ってきた。砂を早く吐かせるために海水も入れたクーラーは重いが、夕食の酒蒸しを楽しみに帰路に就いた。

Spot garden

(野火止 7 大島 直次)

人を成長させる? 坪庭

コロナ禍で出歩くことを制限されたマンション暮らしの日常に厭きて、インバウンドな楽しみを見つけようと思いついたのが坪庭づくり。昨年の中秋からベランダの一角にパネルを立てて囲いを作り、床に簀の子を置いて水はけを良くし、その上に人工芝を敷いて、大きめの鉢に、秋から冬にかけて映える花を選んで寄せ植えにする。



花を選ぶのは妻、私は専ら花壇のデザインを担当。低い木片の塀を置き、ソーラ式の照明灯や水槽を置き、色の配置を考えてそれなりの花壇が出来上がった。その日から日照時間を勘案しながら水やりや添え木を調節。朝起きると先ずベランダを覗く習慣が夫婦共につき、早起きで健康にも良い坪庭が出来上がった。花も坪庭も時間の経過とともに成長してゆく楽しさ。人間も花に教えられる生き物だということ改めて学んだ。

Haiku

(道場 1 太刀川 和男)

句集『蟬時雨』 著者:勝呂睦男 発行:港の人

春夏秋冬及び新年の章、合わせて600句が収録されている。旅の目的は定かではないが旅先での情景が多い。情緒を託したのだろうか数多くの花が歌われている。「懐かしく儂い想い」とは作者の言葉である。

枕木の焦げつく午後や立葵(夏の句より)

母が他界した年齢より15年も永く生きている。SLが珍しくない時代、少年だった頃、母と同行した旅先の途中駅。線路脇に群生する夏色の立葵、群青の空、純白の入道雲、鈍色のレール。色彩が鮮やかに脳裡に蘇る。うだるような夏の暑さが皮膚を刺激する。そして、晩年の姿ではなく、その当時若い頃の母の面影が目に見えてくる。

俳句はズブの素人だが、優劣を競う人気TV番組に何か違和感を抱いていた。作者の後書きに「言葉の職人になるよりも、貧しくとも“微小なる詩人”でありたい」との言葉にその正体が見えてきた。



「ねぶた」と冬の辛さと

東1丁目 對馬 勝年

私のふるさとは青森です。

5年ほど北海道に居たことがありますが、父が他界し、その後、母の実家がある青森市で7歳からずっと育ちました。

夏になると、やはり「ねぶた」祭りが懐かしい。太鼓の音を聞くと血が騒ぎます。派手な飾りの花笠を被った跳入が、浴衣に着いた鈴を鳴らして「ラッセララー、ラッセララー」と飛び跳ねる。太鼓と横笛の囃子が祭り気分を盛り上げ、道の横幅一杯に絢爛、迫力ある和紙人形の「ねぶた」が通る。青森県人の元気が



素です。

それと冬の厳しき。青森の冬は長いです。中学校は周りが田んぼで、毎日2、30分かけて通う。吹雪くと細かい雪が顔面に突き刺さる。きつかった。凍み渡った雪原を最短距離で移動する学びもあり精神的にもずいぶん鍛えられたと思う。私は趣味といつて特にない。強いて言うところ、考え続けることや実験すること、

こと、働くこと。齢（昭和18年生まれ）のわりに歩るのが早いと言われますが、自分で意識したことはなく青森の厳しい自然が丈夫な体を作ってくれたと思う。

青森は人生の転機も与えてくれた。高校受験まで、勉強に全く興味がなかった。高校を受験するとき、初めて勉強に取り組んで、学び考えるのは面白いと気づいた。手に職をと母の考えで、工業高校に進学しましたが、もつと勉強したくなった。

高校の校長は親身になって相談に乗ってくれた恩人です。校長なのに勉強も教えてくれたし、人生がいかに大事なものか、考えさせてくれた。

普通科の高校に転入し、押し入れの小さな机で、勉強に明け暮れました。弘前大学理学科に入学しました。研究は生きがいです。私の専門は「氷」ですが、分子・原子レベルで分析すると、いろんな違いが分かり、とても奥深い固体です。

家に実験装置があり、今でも実験しています。シルバー人材センターの会員で働き、仲間と交流し、自宅で実験。それなりに満足しています。これも青森生活のおかげ。青森は心のふるさとでもあります。



東1丁目 唐 学誠

クラリネットのレッスンを続けて二十数年になります。クラリネットを吹く目的は人に聞いてほしいからです。聴衆の前で演奏してこそ、初めて曲の「完成」になります。

けれど昨年、今年とコロナウイルス禍で市の文化祭、在席楽団の合同練習と定期演奏会、シルバー人材センターのフェスティバルでの演奏などが全て中止になってしまいう状態です。とても残念に思っています。



演奏を継続するために何か良い方法はないかと考えました。最初は家で楽団の次回定期演奏会の曲や好きなソロの曲を練習していましたが、まるでひきこもり状態でメロディーを流すだ

けなので楽しめません。ふつと現役時代の休日によく柳瀬川ふれあい橋の袂で練習をしていたことを思い出し、とにかく行ってやってみようと思いいちちました。

誰にも迷惑をかけなく、存分に音を出して吹ける場所です。橋の上を歩いている人から「いい音ですね」また「先程、吹いていたのはなんの曲ですか？どこかで聞いた気がする」。「映画5つの銅貨の中のラグタイム子守唄が吹けますか？」とリクエストされて吹くと喜ばれたり、ある時は保育園の子ともが「きれいな音！」と

言って、かわいい拍手をしてくれたり、土手を散歩する人々に声をかけられ、心がわくわくしてきます。川の流れる音を伴奏に好きな曲を吹いているとまるで一人ぼっちの楽しい演奏会みたいですね。なかなか良い気持ちで演奏ができました。

▼親睦会だより (令和3年度総会)

コロナ状況見て行事復活へ

親睦会会長 後藤 勝義

日頃より親睦会に御協力有難うございます。令和3年度の総会は6月27日(日)、コロナ禍の影響で昨年に続きSC会議室にて開催しました。ワクチン接種も進んでいます。コロナによる規制緩和後を見据え、行事復活を目指す新年度の事業計画も承認されました。

昨年度はコロナ感染防止のため、親睦会事業が軒並み中止となり、何もできない状況でした。今年度はコロナの状況にもよりますが、来年1月に「新春のつどい」、3月に「シルバードフェスティバル」を復活開催の予定です。この頃には、ワクチン接種の効果も見られるはずで、会員全員が互いの健康を喜び合う絆の場となるよう、検討していきます。



人気の高い日帰り旅行も復活させる予定です。恒例のバス旅行が目標ですが、昨年度、厳しい状況のなかでも現地集合、解散の「川越散策」は好評でした。11月の秋旅行を検討中です。新しい取り組みも始めました。「親睦会だより」(チラシ版)は大事なお知らせを掲載しています。題目「巣ごもり」で川柳を募集したところ、39首も集まりました。会員の新しい交流の場として活用していきます。コロナのワクチン接種では、高齢者のデジタル支援が社会問題になりました。

親睦会もSC会議室を借り、会員同士で支援し合おうと「スマホの使い方」教室を検討しています。コロナの終息は全員の願い。今年度は親睦会役員全員が留任し、会員のご期待に添えられるように努めてまいりますので、ご協力ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

サークル紹介

ゆうゆうゴルフ会

ゆうゆうゴルフ会は28年の歴史があり、104回のコンペを開催してきました。現在の会員数は32名(女性4名、男性28名)です。

昨年度は新型コロナの蔓延の為、5月のコンペ開催や幾つかの練習会、それに新年会の中止を余儀なくされました。然し3密を避けて開催した7月の清澄GC、9月の寄居CC、11月のリバーサイドGC、3月の武蔵松山CCに於けるコンペには各々23余の会員が参加しました。コロナで家に籠りがちで



寄居カントリークラブ 20年9月のコンペ

ストレスは溜まるばかりですが、広々としたゴルフ場で楽しくプレーすれば、それも解消します。又コロナの渦中ゴルフ人口が増えたとの嬉しい報道もあります。「ルールとマナーを守りプレーは楽しく」のスロージャンのもと、思いやりの精神をもって会員相互の親睦をはかり楽しいゴルフライフを追求します。

今年度も年5回のコンペと月2回の練習会に加え新年会を企画してまいります。皆様の参加を心より歓迎いたします。(電042-493-1685柴田まで)

こらむ一寸一息

コロナ禍になって、1年が過ぎた。外出自粛の呼びかけを破って遠出をするわけにはいかないが、近場で楽しみを見つけることもできる。平林寺境内林裏の野火止用水に沿った緑道を散歩すると、用水環境もずいぶん変わった。

伊豆殿橋は歩行者用の新しい橋が架かり、樹齢150年のケヤキが切り倒されて、切り株がベンチになった。私は、晴れると1週間に4、5日はここを歩く。季節が変わると、楽しみも増える。1月下旬から2月上旬にかけて、笹藪の中で鶯のひながうごめいているのを見た。初夏はホテル。西分集会所横の野火止用水にカワニナとホテルの幼虫を放流し、川爺グループ15名で5月下旬から毎日、観察した。今年は1週間で計30匹ほどのホテルが鑑賞できた。今の季節はうっそうと緑が茂る。新座の自然を楽しみましょう。

(赤澤 正直)

理事会報告

第1回 (4月30日開催)

- ① 令和2年度補正予算(第2号)が承認された。
- ② 令和2年度事業報告が報告され、承認された。
- ③ 令和2年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録について報告され、承認された。
- ④ 公益社団法人新座市シルバー人材センター職群班運営基準(内規)の一部改正について報告され承認された。

《業務委託の変動等に伴い、名称の変更、廃止を行う必要が生じたため》

・公共	48 ↓ 40班
・民間業務	17 ↓ 16班
・その他	72 ↓ 63班
合計	

- この内規は令和3年4月1日より適用する。
- ⑤ 令和2年度役員の利益相反取引について報告され、承認された。

⑥ 正会員(4月分) 男性10名、女性6名、合計16名の会員が承認された。
【4月末現在、正会員数は2016名】

第2回 (5月31日開催)

- ① 令和2年度事業計画、令和2年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録について最終確定された。



- ② 第42回定時総会の招集について日時、場所、総会の目的事項、書面表決の可否等について検討され承認された。
- ③ 第42回定時総会議案が検討され、承認された。
- ④ 第42回定時総会表彰者26名、6事業団体が承認された。また、令和3年度安全運転標語優秀作品6点が紹介された。
- ⑤ 収支相償について報告さ

れ、承認された。
⑥ 令和2年度業務監査・会計監査等の期末監査(令和3年5月25日)の講評が報告された。

第3回 (6月30日開催)

- ① 新座市SC年間スケジュールが報告された。
- ② 正会員(6月分) 男性6名、女性13名、合計19名の入会が承認された。

【6月末現在、正会員数は1950名】

事務局からのお願い

センター会員数がピンチです！

当SC会員は、平成21年に2,699名と県内のシルバー人材センターではトップクラスの会員数を誇っていました。しかし、6月末では1,950名と2,000名を下回る状況です。会員数の減少はSCの様々な運営に大きく影響し、大変困難な状況になります。

会員の皆様には、知人や友人の方へ是非センターに入会していただけるようお勧めいただければ幸いです。

第1回正副職群班長会議

【日時】 5月24日(月) 午前10時

【場所】 SC会議室

【参加】 職群班の班長

- ・ 令和3年度業務委員会事業計画について
- ・ 今年度班活動費支給

計報

- ・ 菅 幹男 (84歳) 野寺2丁目
- ・ 二戸 ヒサ (81歳) 石神2丁目
- ・ 松本 三男 (68歳) 北野3丁目
- ・ 牧内 三男 (78歳) 野寺1丁目
- ・ 高木 紳生 (67歳) 東一丁目
- ・ 石賀 雅文 (70歳) 本多1丁目
- ・ 最上谷 長昭 (72歳) 栄3丁目

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

【表紙の呟き】

「菜の花」の次は何? 第一候補は「そば」。夏に白いソバの花を楽しみ、秋に収穫し美味い蕎麦という不純な企画はポツ。向日葵の迷路とシャボン玉で盛り上げたが人出はポツポツ。しかし子供達には大好評だった。(吉田)

編集後記

ワクチン接種のさなか、オリンピックの開幕が目前に迫っている。新座市は射撃の競技会場で、ブラジルのホストタウン。コロナウイルスの蔓延にワクチン接種は勝てるのだろうか。勝つとして、接種の進捗はオリンピックに間に合うのだろうか。大きな荷物を二つも背負い、新座市の行政当局は奮闘している。

SCも自助、共助、公助でコロナ感染防止に向け、ここの一番の踏ん張りどころだ。不安に打ち勝つことを確信して、ゆうゆう通信108号をお届けする。

(中伏)